

## D分科会テーマ⑤ 財務分析

運営委員：秋 元 雅 則  
山 本 博 幸

この分科会では、初めに参加者の計算書への実務での関係度合をお伺いしたところ、約10%の方が計算書をご覧になっていませんでした。そのため、資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表の財務三表の簡単な説明を行い、財務分析を行う上での基礎的な知識を確認しました。その後、私学事業団の計算方法との違いも含め、関係比率、構成比率を説明してから、人件費比率等の演習を行う比率の説明を行いました。

次年度への課題として、この事前説明においていくつかの比率は、実際の数値の短期大学での実情の説明も必要かとも思いました。(例えば、帰属収支差額)

後半は短大協会方式の財務分析の演習を行いました。消費収支計算書の関係比率、構成比率、貸借対照表の関係比率を演習しましたが、今回の研修で強調しました「財務分析による自校のポジションを把握する」という目的は参加者の真摯な取り組みにより、ほとんどの方が達成できたと思います。反面、参加者の各学校での状況や実務経験等により分析項目の数にばらつきがあったことも、昨年同様の問題点として残りました。

最後に行ったキャッシュフロー計算書からの分析も時間が不足してしまい、教材演習と解答説明という手順が行えませんでした。キャッシュフロー計算書も含め、学校会計の計算書の構造は演習をすれば会得しやすいと思います。他の分科会との関係も考えながら次回の構想を練りたいと思います。

来年度以降への懸案事項を次に挙げておきます。

1. キャッシュフロー計算書を詳しく説明するか
2. 学生数、教職員数等の表も演習に入れるか
3. 全体の見直し